

こどもワークショップ



いけんのひろば

けっか ほうこくしよ
結果報告書



五泉市

2025.9.6

もくじ

1	事業の概要	
	• 実施の目的	3
	• 事業の内容	4
	• 話し合いのテーマ	6
	• いけんのひろばのルール	7
2	話し合いの記録	8
3	ワークショップをやってみて気づいたこと	16
4	参加者アンケート	17
5	おわりに	27



言いたいこと、
言ってみよう!!

【事業の目的】

五泉市では、令和7年3月に「五泉市こども計画」を策定しました。計画の推進にあたっては、子どもや若者の視点で、その最善の利益を第一に考えて進めるよう留意することとしています。

そこで、子どもや若者ととともに社会をつくるという認識のもと、こどもの意見を聴くための取り組みとして、昨年度に続き、今年度もこどもワークショップ「いけんのひろば」を開催しました。

また、参加者である子どもたちの意見を大切に、子どもたちが意見を出しやすいようにするため、グループワークの進行役（ファシリテーター）は、五泉市と包括連携協定を結んでいる新潟医療福祉大学の大学生が務めました。

【事業の内容】

日 時 2025(令和7)年9月6日(土)
13:00~16:30

会 場 五泉市福祉会館 大会議室

対 象 市内在住の小学5年生~高校生

周知方法 チラシ(市内小中学校・高等学校などに配布、ふれあいバス車内に掲示)
広報ごせん(6/25号)
市ホームページ
SNS(LINE、インスタグラム)
市長定例記者会見(6月)

小学5年生~
高校3年生
募集!

子どもワークショップ

いけんのひろば

9/6 (土)

13:00~16:30
福祉会館 大会議室
《参加費無料》※一般公開はしません。

申込締切 7/16

参加者には
図書カードを
プレゼント

▼話し合いのテーマ一覧 ※好きなテーマを第3希望まで選んで申し込みください。

1	「20年後の未来の五泉市...どんなまちであってほしい?」 ごせんの良いところ、悪いところは? 施設は足りてる? 住んでほしい? ごせんで働きたい?
2	「子ども活躍! 地域の見守り隊」 地域の新しい仲間、おばあちゃんなどどんな交流してる? 心配な人を見かけたらどうする?
3	「勉強はうんざり...もっと遊びたい! こんなことしたいんだ!」 どんな体験をしてみたい? どんな道具や遊び場、イベントがあったらいいかな?
4	「未来を編ごう! 結婚、育児、自分が親になったらどんな子育てがしたい?」 将来は結婚したい? 結婚した後も働きたい? ことは何人ほしい? どんな人生を送りたい?
5	「ごせんのファンを増やそう! ごせんの推しを語ろう!」 ごせんを知りたい人たちに何を売ってもらいたい? どこがオススメ? 刺を知ってもらいたい?
6	「さあ、あなたが校長先生!! どんな学校にしたい?」 楽しいと思う授業は? どんな先生がステキ? こんなルールを作ったら? 部活がなくなったら?

申し込みは
市ホームページから▼
QRコード

問い合わせ 五泉市役所子ども家庭課 ☎0250-43-3911 **こどもまんなか**
五泉市はこどもまんなかを通じて子育て支援をしています。

日 程

時刻	内 容	時間
12:30~	受付	30分
13:00~	開会、スケジュール説明	15分
13:15~	オリエンテーション	30分
13:45~	グループワーク	100分
15:25~	発表	55分
16:10~	講評	10分
16:30~	連絡、閉会	5分



参加者 小学生 5人、中高生 7人、合計 12人（申込者 14人）
うち1人はオンライン参加

指導/協力 新潟医療福祉大学 名誉教授 丸田秋男 先生
講 師 渡邊恵司 先生
社会福祉学科の学生のみなさん 9人

こどもワークショップ「いけんのひろば」では、五泉市と包括連携協定を結ぶ新潟医療福祉大学のご協力のもと、子ども同士の意見交換を大切にするため、また、参加者が意見を出しやすいように、各グループの進行役（ファシリテーター）を、参加者と年齢に近い大学生が務めました。

【話し合いテーマ】

好きなテーマを第3希望まで選んで応募してもらい、参加者のグループ分けをしました。今回は、★印の3つのテーマでグループワークを行いました。

1	★	「20年後の未来の五泉市… どんなまちであってほしい？」 ごせんの良いところ、悪いところは？ 施設は足りてる？ 住んでいたい？ 働きたい？
2		「こどもも活躍！ 地域の見守り隊」 地域のおじいちゃん、おばあちゃんとどんな交流してる？ 心配な人を見かけたらどうする？
3	★	「勉強はうんざり… もっと遊びたい！ こんなことしたいんだ！」 どんな体験をしてみたい？ どんな道具や遊び場があったらいいかな？
4		「未来を描こう！ 結婚、育児、自分が親になったらどんな子育てがしたい？」 将来は結婚したい？ 健康した後も働きたい？ こどもは何人ほしい？ どんな人生を送りたい？
5		「ごせんのファンを増やそう！ ごせんの推しを語ろう！」 ごせんを知らない人たちに何を買ってもらいたい？ どこがおススメ？ 何を知ってもらいたい？
6	★	「さあ、あなたが校長先生！！ どんな学校にしたい？」 楽しいと思う授業は？ どんな先生がステキ？ こんなルールを作ったら？ 部活がなくなったら？

「いけんのひろば」のルールについて

ふだん感じている
こと、なんでも
言っちゃおう！

- ① ワークショップを楽しみましょう。
- ② 必ず発言しましょう。まとまっていなくても、思ったことを言ってOK！何を話しても間違いではありません。
- ③ 一人ひとりの考えを大切にしましょう。人の意見を否定したり、誰かの話をさえぎったりしないようにしましょう。
- ④ みんなが話せるように協力しましょう。年齢に関係なく、誰もが等しく話し合いに参加しましょう。
- ⑤ 時間を守りましょう。

2. 話し合いの記録



テーマ 20年後の未来の五泉市… どんなまちであってほしい？



ふだん感じていること、なんでも言っちゃおう！

【現状・課題】 ごせんの良いところ？ 悪いところは？ 施設は足りてる？ ずっと住んでいたい？

- ・米、野菜、果物、水がおいしい
- ・川、花がきれい ・自然がたくさん
- ・遊ぶところ、商業施設、電車の数、歩道、人口が少ない
- ・学校、駅、コンビニが遠い
- ・もっと便利なところにすみたい（車がなくても住める）
- ・公園の雑草がたくさん生えている

【理想・目標】 20年後の「ごせん」がどんなまちであってほしい？ どんな場所、どんなことがあったらいいと思う？

- ・子どもからお年寄りまで男女問わず楽しく暮らせる町
- ・交通機関の充実 ・子どもが遊べる場所が多い町
- ・今あるイベント、公共交通、店がなくなるらない

【解決策・アイデア】 あなたが市長だったら、どんなアイデアがあるかな？ 思いっだけ書いてみよう！

- ・人の集まる場所（商業施設、ポケモンセンターなど）をつくり、五泉の産業も参加する→仕事の場所も増え、人が来る！→ごせんの良さをアピールする、観光ツアー
- ・SNSを活用する

【新たな気づき】 みんなで話し合った結果、ほかに思いついたことや、新たに考えたことを書こう！

- ・五泉ならではの魅力をアピール！
- ・季節によってイベント開催
- ・子どもが住みやすく遊べる居場所を

テーマ

**勉強はうんざり...もっと遊びたい!
こんなことしたいんだ!**



【現状・課題】 これからやってみたいことはある?
どんな体験をしてみたい? 何に興味がある?

- いろんな職業の人の話を聞いてみたい
- 職業体験
- 映画館、駄菓子屋、ゲームセンターがほしい
- 小学生限定とあるので、中学生も体験したい

【理想・目標】 どんな道具や遊び場があったらいいかな?
どんなイベントや講座、体験会があったらいいかな?

- 日本文化、誰でもできる米づくり、子ども食堂の体験
- 保育士やディズニーのキャストなどの職業体験
- 手話や英語(外国語)だけのイベント
- 職業講演会
- マンガやアニメを語る場
- 外国の方や他校との交流会
- 中学生も遊べる場所
- 雨の日でも遊べる場所

【解決策・アイデア】 あなたが市長だったら、どんなアイデアがあるかな?
思いつくだけ書いてみよう!

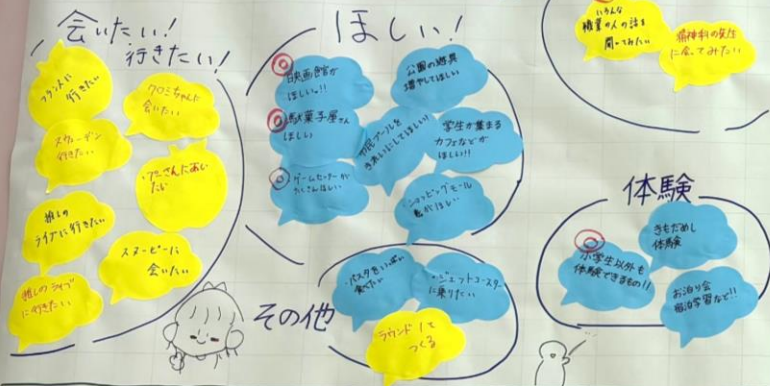
- 使っていない場所を体験などで利用する
- 安全で広い場所を探す
- 交通機関や駅を増やす
- いろいろな人が来られるような場所にする
- 他県の市長と交流する
- 市長と会える会をつくる
- 意見箱をあちこちに設置する

【新たな気づき】 みんなで話し合った結果、
ほかに思いついたことや、新たに考えたことを書こう!

- 意見交換をして、さらに意見ややりたいことが増えた
- みんながしっかり自分の意見を言えた
- 意見を交換することに楽しさを感じた

勉強はうんざり... もっと遊びたい!

① やってみたい事!!



② どんな物があつたのいいかな?

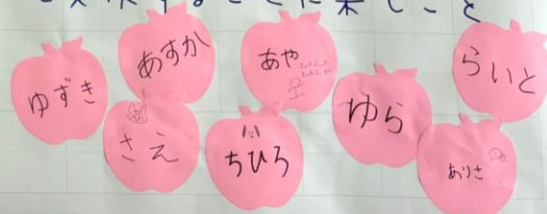


③ 自分が市長だったら...



④ 新たな気づき

- みんなで見聞交換をして、さらに意見ややりたいう事が増えた。
- みんながしっかりと自分の意見を言えた。
- みんなで見聞交換することを楽しさを感じた。



さあ、あなたが校長先生!! どんな学校にしたい?



【現状・課題】 楽しいと思う授業は? どんな先生がステキ?
良いルール、気になるルールは?
部活がなくなるって、どんなイメージ?

- ・ 校外学習、グループワーク、雑談が多い授業は楽しい
- ・ たくさんほめてくれる先生、注意する理由をはっきり言ってくれる先生はステキ!
- ・ キャラクターがダメなど、理由が分からない校則がある
- ・ 部活がなくなると、先輩後輩の関わりがなくなりそう

【理想・目標】 どんな学校、授業だったら楽しいだろう?
学校にこんなルールを作ったら?

- ・ 他校と交流しながら勉強したい
- ・ 授業中にこまめに休憩や雑談をはさんでほしい
- ・ 給食を月2、3回バイキング形式やリクエストにしたい
- ・ 遊具やトランプ、ウノ、オセロなど遊べる道具がほしい

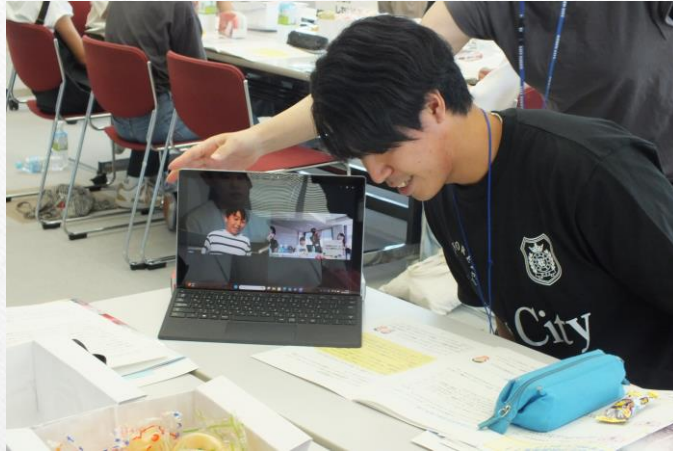
【解決策・アイデア】 あなたが市長だったら、どんなアイデアがあるかな?
思いつくだけ書いてみよう!

- ・ アプリで家でも授業やおしゃべりができるようにする
- ・ 他の学校と交流で授業をして一緒に調べ話し合う
- ・ 月1回病院の先生やパティシエなどを招いた授業をする

【新たな気づき】 みんなで話し合った結果、
ほかに思いついたことや、新たに考えたことを書こう!

- ・ 校則を変えたい
- ・ 有名人に来てほしい
- ・ 食堂を作って給食のコースを選べるようにしてほしい
- ・ 小学校でも留学できる機会をつくる

オンライン参加に挑戦！



開催日が学級閉鎖期間となったため、急遽オンラインでの参加を実施しました。ファシリテーターの大学生のサポートもあり、会場に来ることは実現できませんでしたが、自分の意見をみんなに伝え、オンラインを感じさせず、会場の人々と話し合いができました。

いずみちゃんと一緒にごせんを語ろう！

グループワークの途中に、五泉市のマスコットキャラクター「いずみちゃん」が登場し、ファシリテーターの大学生と一緒に、ごせんについて話をしました。「ごせんの自慢は、本当にきれいな川です」「推しのアイドルが五泉のニットを着ていることが分かって、五泉のニットのすごさが分かりました」と、五泉の良いところを紹介してくれました。



3. ワークショップをやってみて

わかったこと・気づいたこと



- ★五泉市の魅力を、市外の人たちにもっと知ってもらうためのアイデアがたくさん出てとても参考になりました。「五泉と言えばこれ！」が大事ですね。
- ★他校との交流や、いろいろな人の話を聞きたいという意見が多く、さまざまな経験や機会を求めていることがわかり、とても参考になりました。
- ★普段は意見を言うタイプではないという人も、このイベントに参加して意見を言うという経験から、意見交換の大切さにみなさんが気づいていて、とても素晴らしかったです。
- ★今回はじめてオンライン参加を行いました。大学生のサポートにより、スムーズに意見交換を行うことができました。
- ★シンプルかつみんなで声を出すアイスブレイクが効果的でした。
- ★事前にワークシートを配布することで、参加者にテーマについて考えてきてもらうことができました。
- ★昨年に続き、グループに大学生のファシリテーターがいることで、雰囲気良くスムーズに進められました。

4. 参加者アンケート

こども

【質問1】属性

	小学生	中高生	合計
参加者	6	6	12
アンケート 回収数	6	6	12

(回収率100%)



【市役所・支所に話し合いの記録展示】

10月15日～21日 村松支所

10月24日～31日 市役所

大学生

【質問1】五泉市出身または五泉市に何回来たことがありますか？

	五泉市出身	今回初めて	2～10回	10回以上	合計
人数	1	2	5	1	9

(回収率100%)

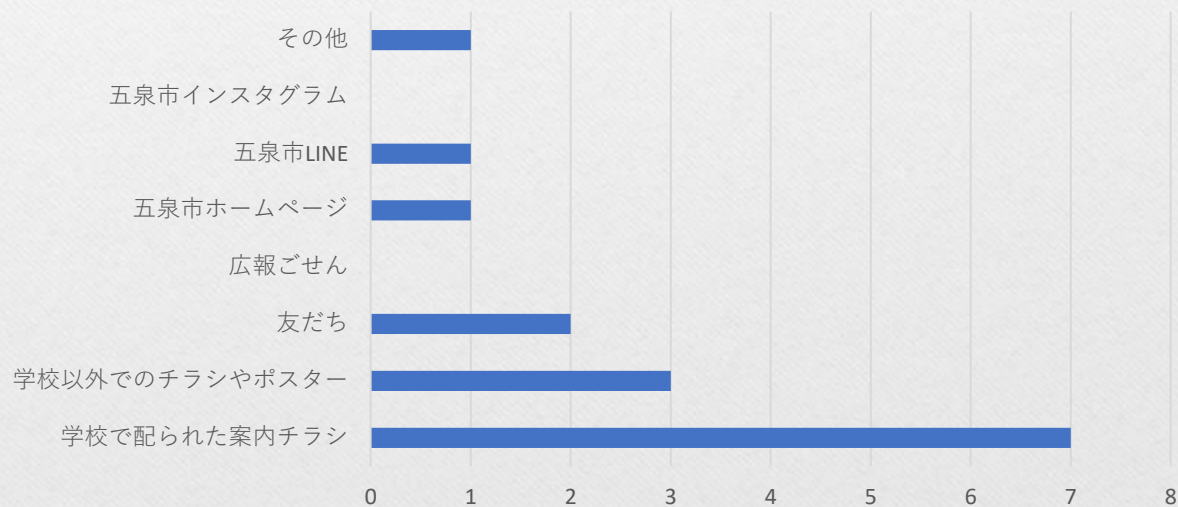
【こども質問2】 今回のイベントは何で知りましたか？

※複数回答可

回答	学校で配られた案内チラシ	学校以外でのチラシやポスター	友だち	広報ごせん	五泉市ホームページ	五泉市LINE	五泉市インスタグラム	その他
小学生	2	2	2	0	1	0	0	1
中高生	5	1	0	0	0	1	0	0
合計	7	3	2	0	1	1	0	1
割合	58.0%	25.0%	17.0%	0.0%	8.0%	8.0%	0.0%	8.0%

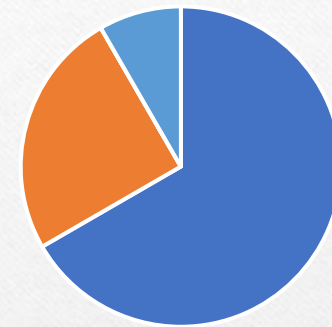
< 「その他」の内容 >

・親



**【こども質問3】
今回のイベントは楽しかったですか？**

回答	とても楽しかった	楽しかった	あまり楽しくなかった	楽しくなかった	未回答
小学生	4	1	0	0	1
中高生	4	2	0	0	0
合計	8	3	0	0	1
割合	67.0%	25.0%	0.0%	0.0%	8.0%



- とても楽しかった
- 楽しかった
- あまり楽しくなかった
- 楽しくなかった
- 未回答

<「とても楽しかった」理由>

- ・ 普段、関わらない年の人と、1つのテーマについて話し合い、考えを深められたから。
- ・ 色々な人と話せて、さらに考えが広がったから。
- ・ 自分たちの意見を自由にだせたから。
- ・ 他の人との意見交換が楽しかったから。
- ・ みんなでいけんをだしあえて「こんなにいけんがあるんだ、いろんな人がこんないけんをいいな」と思いました。
- ・ みんなと意見交かんができたし、1人ひとりが案を出して「そうだね!」といいながら話し合いができたから。
- ・ みんなと話せた。
- ・ 大学生の人たちがおもしろかったです!

<「楽しかった」理由>

- ・ みんながまよいなく、自分の意見を言えたから。
- ・ 意見をきょうかんしてくれたから。
- ・ ふだん意見を言わないタイプだからどんどん意見がいて楽しかった。

【こども質問4】今回参加した理由を教えてください。

※複数回答可

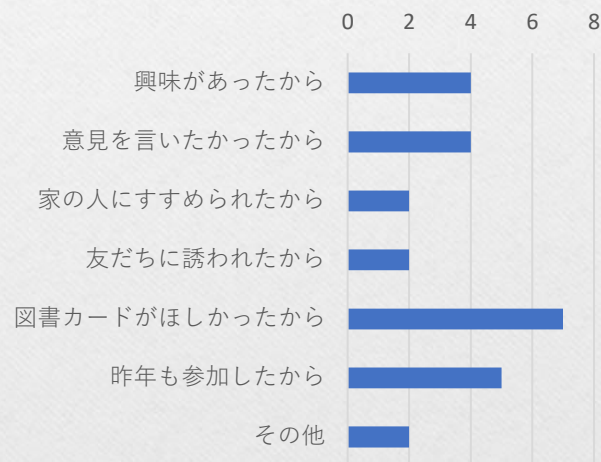
回答	興味があったから	意見を言いたかったから	家の人にすすめられたから	友だちに誘われたから	図書カードがほしかったから	昨年も参加したから	その他
小学生	2	3	1	1	3	0	1
中高生	2	1	1	1	4	5	1
合計	4	4	2	2	7	5	2
割合	33.0%	33.0%	17.0%	17.0%	58.0%	42.0%	17.0%

<「その他」の理由>

- ・自分の意見を採用してくれたらうれしいから
- ・こども家庭課よりお誘いがあったから

【こども質問5】ワークショップの時間はどうでしたか？

回答	長かった	ちょうどよかった	短かった
小学生	0	4	1
中高生	1	5	0
合計	1	9	1
割合	8.0%	75.0%	8.0%



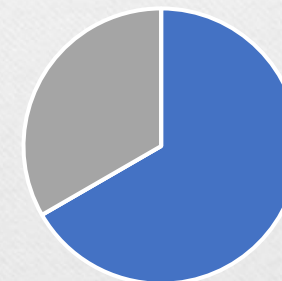
【こども質問6】 今後みんなで考えてみたいテーマは何ですか？ ※複数回答可

回答	学校生活	こどもの居場所	こどもの人権	子育て	食育	ごみ、環境
小学生	3	2	2	1	1	2
中高校生	4	3	2	0	1	1
合計	7	5	4	1	2	3
割合	58.0%	42.0%	33.0%	8.0%	17.0%	25.0%

回答	防災	就職	観光	まちづくり	その他
小学生	1	2	1	3	0
中高校生	3	1	2	1	0
合計	4	3	3	4	0
割合	33.0%	25.0%	25.0%	33.0%	0.0%

【こども質問7】 今後もこのようなワークショップに参加したいですか？

回答	参加したい	参加したくない	わからない	未回答
小学生	5	0	1	0
中高校生	3	0	3	0
合計	8	0	4	0
割合	67.0%	0.0%	33.0%	0.0%



- 参加したい
- 参加したくない
- わからない
- 未回答

【こども質問8】子どもや若者が意見を表明するために、どのような機会があったらよいと思いますか？ ※複数回答可

回答	ワークショップ	アンケート	意見箱	討論会	チャット	その他
小学生	4	3	4	0	2	1
中高生	3	2	4	1	3	0
合計	7	5	8	1	5	1
割合	58.0%	42.0%	67.0%	8.0%	42.0%	8.0%

<「その他」の内容>

- ・学校やてらこやなど

【こども質問9】今回ワークショップをして、学んだことや発見したことを教えてください。全体を通しての意見や感想を自由に書いてください。

- ・楽しかった。
- ・みんなといけんを言えてよかったです。また次もやりたいです。
- ・いいいけんがあってこれぜったいになえたい といういけんがたくさんありました。
- ・いろんなひとが こんないけん をもっているのがわかりました。
- ・五泉市はこどもまんなかのまちづくりをしているということがわかった。
- ・意見を出し合うのは楽しかった。
- ・学んだことは人それぞれ考えが違うということです。感想は、そういう考え方もいいなと思うところがありました。
- ・私は人と話し合っている場で自分の意見を言うのが苦手ですが、こうやって自分の意見が言える場があってうれしいです。
- ・いがいとみんな大人にたいしてこれ変じゃねてきなことがあるって分かってよかったです。
- ・話し合いの中で自分の考えをよりパワーアップできたり、他の人の考えから、また新しい案を出すことができよかったです。また、意見を市に出すという貴重な体験ができました。
- ・五泉市は割と飲食店があると思っていたけど、言われてみれば、チェーン店はそんなにないなと思いました。今日話した事が市の意見で叶ったらと思います。
- ・自分たちのやりたいことをするためには他の市の人なども交流していかないとだから、日頃の行いから大事にしていこうと思った。
- ・またこういうきかいを作ってください。

【大学生質問2】 今回のイベントは満足できましたか？

回答	とても満足	満足	あまり満足でない	満足でない
人数	8	1	0	0
割合	89.0%	11.0%	0.0%	0.0%



- とても満足
- 満足
- あまり満足でない
- 満足でない

< 「とても満足」の理由 >

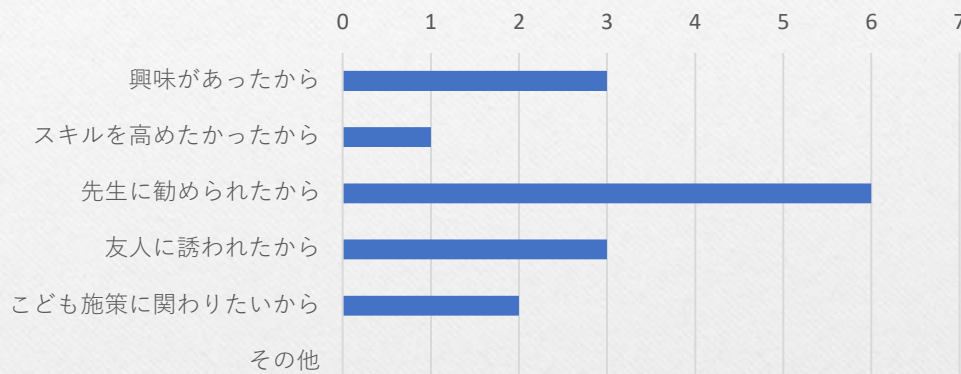
- ・実際のこどもの意見を聞くことができ、五泉市の現状が理解できたから。
- ・こどもたちと触れ合い、しっかりと意見を述べる姿勢にとっても感銘を受けました。
この意見が五泉市に伝わり、実現することを祈っています。ありがとうございました！
- ・こどもたちの意見をきいて、五泉の未来を深く考えることができたから。
- ・子どもたちどうしが思っていることを交換し合うとてもすてきな場だと思ったから。
- ・子ども達が自由に意見交換をすることができてよかったと感じたから。
- ・こどもたちの目線からみた五泉を知れて興味深かった。更に五泉を知っていきたい。
- ・こどもたち目線の五泉のいいところ悪いところが聞けてよかった。
また、自分の考えを持ち、まとめている姿にとってもすごいなと感じました。
- ・こども達が自分の意見を素直に伝え、意見交換できたから。

< 「満足」の理由 >

- ・小中学生と楽しく交流できたから。意見をまとめて1つのまとめをみんなで作りあげられたから。

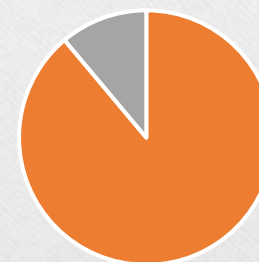
【大学生質問3】今回参加した理由を教えてください。 ※複数回答可

回答	興味があったから	スキルを高めたかったから	先生に勧められたから	友人に誘われたから	こども施策に関わりたいから	その他
人数	3	1	6	3	2	0
割合	33.0%	11.0%	67.0%	33.0%	22.0%	0.0%



【大学生質問4】ワークショップの時間はどうでしたか？

回答	長かった	ちょうどよかった	短かった
人数	0	8	1
割合	0.0%	89.0%	11.0%



- 長かった
- ちょうどよかった
- 短かった

【大学生質問 5】

地域の小中高校生と一緒に活動することについて、意見をお聞かせください。

- ・実際のこどもの意見を聞くことが出来る良い機会だと思った。
- ・小、中、高とこどもたちの年齢の違いがある中、しっかりとそれぞれの意見を聴き、発表できたことは、とても勉強になりました。
- ・様々な学年の子と関わることで、意見の引き出し方の違いを感じることができた。
- ・ふだん関わる機会がないので、いろんな話ができてうれしかった。
- ・地域によって学校の違いや楽しみが知れるので楽しい詩し学ばせてもらえた。今後の実習などに活かしたい。
- ・普段聞くことのできないことが聞けて楽しかったです。また、こどもたちも関わることで自分のスキルアップにもつながったと思いました。
- ・一緒に交流することで、どんな事を考えているのかという新しい刺激をもらえる
- ・普段接することがないのですべてが新鮮でした。

【大学生質問 7】

子どもや若者が意見を表明するために、どのような機会があったらよいと思いますか？

回答	ワークショップ	アンケート	意見箱	討論会	チャット	その他
人数	5	4	7	2	1	1
割合	56.0%	44.0%	78.0%	22.0%	11.0%	11.0%

< 「その他」の意見 >

- ・SNSでのアンケート

【大学生質問 6】 今後もこのようなワークショップに参加したいですか？

回答	参加したい	参加したくない	わからない
人数	9	0	0
割合	100.0%	0.0%	0.0%



- 参加したい
- 参加したくない
- わからない

**【大学生質問8】今回ワークショップをして、学んだことや発見したことを教えてください。
また、全体を通しての意見や感想を自由に書いてください。**

- ・私たちが思っているより子どもたちはしっかり自分の意見を持っていることが分かった。
- ・少しまとめる事が大変だと感じることもあった。
- ・意見交換をしながら地域を考えることで、子ども達はその地域について深く考えるのはもちろんのこと、大人もそれ以上の普段は無いような意見や刺激があるのだと感じました。
- ・子どもまんなかという子どもの意見を反映していることにすごいなと感じました。
- ・今回とても楽しくいい経験になりました。
- ・大人の視点からでは思いつかないような創意工夫の加わった意見が出ることは、子どもがいてくれないとできないことだが、この場に来て、この場を作ってもらえてよかった。ありがとうございました。
- ・昨年の意見が反映されていることが広く知られ、今後のワークショップの意欲に繋がってほしいです。
- ・大人が考えている以上に子どもたちは自分んの意見を持っていることが良くわかった。
- ・子どもたちの将来のためにも、今回のようなイベントを通じて五泉市がより良い地域になってほしい。
- ・発見するのを最初はみんな少しこぼんでいたけど、聞き方によって答えてくれたり、みんながそれぞれすてきな考えを持っていることを身近に感じることができました。
- ・自分の住んでいる町の改善点を子どもたちが細かく考えていたことを知った。
- ・五泉市に人が住み続けるための政策を考えることは簡単であったが、お金や人を踏まえて 現実にできるかどうかは難しいと感じた。
- ・他のグループの発表を聞いて実現できそうな案もあったため、少しずつみんなが住みやすい町になれば良いと思った。
- ・みんなが1人ずつしっかりと意見を持ち、そこで話し合い、発表という形にできたことは、とても貴重な経験となりました。ぜひこの意見が五泉市に届き、子ども達がより暮らしやすい、遊びやすい「居住化」ができたらいいなと思います。
機会があればまた参加したいです！ありがとうございました！！
- ・なにか1つでも例を出してあげたり、テーマに関わる話題を振ってあげることで、子どもが話しやすい環境づくりになると思った。
ワークショップで出た意見が今後の政策に繋がると良いと思った。

5. おわりに

今回「いけんのひろば」に参加していただいた小中高校生のみなさん、
子どもたちを送り出していただいた保護者のみなさん、
全面的なサポートとアドバイスをいただいた
新潟医療福祉大学 丸田秋男先生、渡邊恵司先生、
社会福祉学科の学生のみなさん、

ありがとうございました ♪

参加したみなさんは、大学生との交流やワークショップを通じて、自分が住む五泉市や社会に対する考えを深める貴重な体験ができたものと考えています。

市ではこの事業の意義と成果を十分に活かし、これからもみなさんの声で「こども どもんなか」の五泉市をつくっていくように努力してまいります。

**こども
まんなか**

五泉市は「こどもまんなか応援サポーター」を宣言しています。

